

## 平成 18 年度第 1 回(通算 116 回)技術情報交換会のご案内

例年、新年度第 1 回目の例会では、

前年度の協会表彰のうち「製品・技術賞」受賞者による受賞記念講演  
今春欧米で開催された国際会議(SAMPE2006,JEC)の内容を中心に欧米  
の先進複合材料技術および市場の最新動向に関する講演  
会員諸氏にとって関心の高いテーマによる特別講演

という構成で行なっていますが、今回も同様の構成でプログラムを企画することが出来ました。

即ち、及び につきましては下記のプログラムでご紹介の内容による講演を戴きますが、特別講演に付きましては、国産宇宙ロケット『H- A』打ち上げ成功に纏わる極めて興味深い講演を日経ビジネス(当世すご腕伝説)で紹介された MHI 名航の“ロケット野郎”こと、浅田正一郎氏にお引き受け戴くことが決まりました。

いずれの講演も必ずや皆様のご期待に応えられる内容と自負致しておりますので、皆様には是非お誘い合わせの上ご聴講下さいますようご案内申し上げます。

### 記

日 時：平成 18 年 7 月 27 日(木) 14:00~19:00

会 場：湘南工科大学 東京キャンパス(糸山タワー7 階会議室)  
東京都港区三田 3-7-18 (Tel:03-5441-8596) 案内図添付

参加費：正会員・賛助会員：8,000 円、学生会員：4,000 円、非会員：11,000 円  
参加費は参加申込時に『三菱東京 UFJ 銀行 鎌倉支店 (普)1276101  
口座名義：先端材料技術協会』に振込料自己負担でお振込下さい。  
定員は 80 名ですので、ご確認は SAMPE Japan ISO をお願いします。

### 【プログラム】

14:00~14:05 例会委員長挨拶 (株)ジーエイチクラフト代表取締役 木村 學

14:05~14:35 “ VaRTM (真空圧樹脂含浸法) を用いた低コスト複合材主翼構造の製造技術開発 ”

(株)カドコーポレーション 代表取締役 倉谷 泰成殿  
JAXA(宇宙航空研究開発機構)の「低コスト複合材構造・製造技術の研究開発プログラム」における製造技術の概説

14:35~15:05 “ 軽量で高強度な FRP ブロックを用いた耐震壁の開発 ”

(株)大林組 技術研究所 プロジェクト部 萩尾 浩也殿  
旭硝子マテックス(株) 技術・開発グループ 糸日谷 剛殿  
近年、地震防災に対する取組みの重要性が強く認識されてきており、平成 17 年度には建築基準法等の改正が行われ、耐震補強に対する指導等が強化されている。建物を使いながら耐震改修工事を行う場合の工事に伴う騒音や振動の問題、耐震補強後の使用上の制約や意匠性など数々の問題点を解決する新しい耐震補強工法として、軽量で高強度なガラス繊維をピンワインディング法により製造した格子状の繊維強化プラスチック(FRP)ブロックを組積して構築する耐震壁工法を開発した。今回は本工法の概要、施工事例、今後の展開、FRP ブロックの製造方法等について紹介する。

15:05~15:15 休憩

15:15~16:15 “ JEC2006 と米国 SAMPE ISSE2006 視察レポート ”

飯塚テクノシステム(有) 代表取締役 飯塚 健治殿  
(財)次世代金属・複合材料研究開発協会 複合材料技術部 部長 伊牟田守殿  
(株)ジーエイチクラフト 代表取締役 木村 學殿  
応用展開が幅広く進展する最新の欧米の複合材市場と技術の動向を 3 月のパリでの JEC2006 展示会と 5 月の米国 Long Beach での SAMPE 国際会議・展示会を視察した情報と共に、更に参加された方々のコメントを加えて報告する。

16:15~17:30 “ 国産「H- A」打上げ成功を導いたロケット野郎達の執念 ”

三菱重工業(株)宇宙名古屋航空システム製作所 宇宙機器技術部  
主幹プロジェクト統括 浅田 正一郎殿

講演内容：

日本の宇宙輸送系開発の歴史概観  
世界における日本の宇宙輸送系の位置付けと課題  
H- A 6号機失敗からの再挑戦  
プロジェクトのリーダーとしての役割と哲学

17:40~19:00 懇親会 講師の方々を交えての参加者相互の情報交換の場として  
ご活用して下さい。費用は参加費に含まれています 以上